

## 2017年1月キューバ情勢

### 【概況】

#### 1 内政

- (1) 軍事パレードの実施
- (2) フェルナンデス内務大臣の死去
- (3) ソーラーパークの建設開始の発表
- (4) マリエル開発特区の地価値上げ

#### 2 外交

- (1) ドライ・フット・ウェット・フット政策及びパローレ計画の廃止
- (2) 崔竜海北朝鮮労働党中央委員会副委員長のキューバ訪問
- (3) 米キューバ石油・天然ガス流出に防止に関わる協定の署名
- (4) 米キューバ人身取引に関する第4回政府間対話の実施
- (5) ドノヒュー全米商工会議所会頭のキューバ訪問
- (6) 米キューバ安全保障に関する覚書の署名
- (7) 米キューバ動植物衛生に関する了解覚書の署名
- (8) キューバ・中国再生可能エネルギーに関する二国間ビジネスフォーラムの開催
- (9) ラウル・カストロ国家評議会議長のCELC首脳会合出席

### 【本文】

#### 1 内政

##### (1) 軍事パレードの実施

2日、ラウル・カストロ国家評議会議長による指揮において、サンティアゴ・デ・クーバ蜂起及びグランマ号の上陸60周年（革命軍事記念日）を祝うため軍事パレードが行われた。なお、通常、同軍事パレードは5年に一度行われ、昨年12月2日に行われる予定であったが、フィデル・カストロ前議長の死去に伴い、実施が延期されていた。ラウル国家評議会議長、マチャド・ベントゥーラ共産党第二書記（ラウル議長の向かって左に整列）、シントラ・フリラス革命軍事大臣、ディアスカネル国家評議会第一副議長（ラウル議長から向かって左7番目に整列）、ラミロ・バルデス国家評議会副議長等が参加。軍事関係者、警察関係者、学生、年少者等およそ300万人が行進に参加したと報じられている。

##### (2) フェルナンデス内務大臣の死去

7日、フェルナンデス内務大臣は、以前から患っていた慢性疾患の合併症により、逝去した。遺体は火葬され、遺灰は9日から一定期間ハバナ市内のコロン墓地におかれた後、サンティアゴ・デ・クーバ県のフランク・パイス霊廟に埋葬される。

10日報道によれば、閣僚評議会が後任の内務大臣としてガンダリージャ内務省筆頭次官を任命することを決定した。同氏は、中將 (Vicealmirante) であるとともに、共産党中央委員であり、人民権力全国議会議員である。

### (3) ソーラーパークの建設開始の発表

19日、Frente de Proyectos(建築及び技術関係の国営団体 (主に建設省の下部団体) の集合体で、キューバ国内の建設業に関する投資の方針等を決めている) は、59のソーラーパークの建設を始めることを発表した。そのうち33は、Frente de Proyectos の権限の下で、今年中に完成する見込みである。

### (4) マリエル開発特区の地価値上げ

20日付の2017年財務価格省決定 (Resolucion) 第7号において、マリエル開発特区のセクターAの地価を改定した。改定は、同地区のインフラ開発の進展に伴うものと説明している (当館注: セクターAは、マリエル開発特区内で実質的に唯一開発が進んでいるセクターで、43.7平方キロメートルの広さ。これまで認可が下りている企業は全てセクターA内に工場等を建設する予定)。セクターAは10の地区に分かれており、1平米あたりの地価の最低価格について、5つの地区について値上げする。

## 2 外交

### (1) ドライ・フット・ウェット・フット政策及びパローレ計画の廃止

12日、米国及びキューバ政府は、ドライ・フット・ウェット・フット政策及びパローレ計画の廃止に係る共同声明を発出した。キューバ政府は、直後に声明を発表し、同決定を評価しつつ、引き続き、米国のキューバ人地位調整法の廃止を求めた。

### (2) 崔竜海北朝鮮労働党中央委員会副委員長のキューバ訪問

12日、メサ共産党政治局員兼国家評議会副議長は、キューバを実務訪問中の崔竜海副委員長と会談した。両者は、キューバと北朝鮮の党、政府、及び国民間の友好関係を強調しつつ、二国間関係の現状及び見通しについて確認した。会談には、キューバ側はシエラ・キューバ外務省次官らが、北朝鮮側は申弘哲 (シン・ホンチョル) 外務省副相及び当国駐筭北朝鮮大使が、それぞれ同席した。

### (3) 米キューバ石油・天然ガス流出に防止に関わる協定の署名

9日、米キューバ石油・天然ガス流出に防止に関わる協定の署名がハバナで行われた。署名したロドリゲス運輸省次官は、「キューバは石油・天然ガス流出による汚染に対して特別な知識を有しており、偶発的汚染事件に関する国家計画を策定している。本協定は、人員の能力強化及び機材・テクノロジーの利用可能性を促進する。」と述べた。米側署名者の

デロレンティス在キューバ米臨時代理大使も「90マイルしか離れていない両国で外交的・法的・技術的な枠組みが締結されたことは有事の際に重要」と強調した。

#### (4) 米キューバ人身取引に関する第4回政府間対話の実施

12日及び13日、ワシントンにおいて人身取引に関する米キューバ政府間対話が開催された。キューバ側は同会合に於いて、人身取引の予防及び対抗策、また、被害者対応策について説明したとされている。

#### (5) ドノヒュー全米商工会議所会頭のキューバ訪問

13日、ドノヒュー会頭は、カストロ議長を表敬し、双方の関心分野についての話し合いを行った。同会談にはハンソン・ボンド同国際部門米州部副部長、グリーンバーグ・S T A R R 保険社長が同行し、キューバ側は、マルミエルカ外国貿易・外国投資大臣、ビダル外務省米国総局長が参加した。この他、同会頭はカブリサス閣僚評議会副議長兼経済企画大臣、マルミエルカ外国貿易・外国投資大臣、ペドラサ財務価格大臣とも個別に会談を行った。

#### (6) 米キューバ安全保障に関する覚書の署名

16日、当地ハバナにて、キューバと米国は、安全保障に関する覚書を締結した。右覚書を通じ、両国は、テロ対策、麻薬、サイバー分野を含むインテリジェンス、不法移民、マネーロンダリング、身分証及び旅券等の文書偽装、武器の密輸等について、協力関係を強化することに合意した。キューバ側は、ガンダリージャ内務相が、米国側はデ・ロレンティス臨時代理大使が、それぞれ署名した。

#### (7) 米キューバ動植物衛生に関する了解覚書の署名

19日、ワシントンにおいて、キューバ農業省と米農務省動植物衛生検疫所との間で動植物衛生に関する了解覚書が署名された。2016年3月に署名された農業協力覚書を補完する形で二国間の動植物衛生協力の枠組を設定するもので、科学的情報の交換、害虫・疫病の防止及びコントロールに関するグッドプラクティスの共有、共同研究等を通して両国の害虫・疫病等の侵入及び拡散を防ぐことを目的としている。

#### (8) キューバ・中国再生可能エネルギーに関する二国間ビジネスフォーラムの開催

18日～20日にかけて、キューバにおける再生可能エネルギー源プログラムへ参加促進に向けたキューバ中国ビジネスフォーラムが開催された。パルド・キューバ産業大臣及びGu Chengkui中国産業開発インフォメーションセンター長が両国間の協力分野を特定するための議論を行った。会合においては、Haier社とキューバ電力公社との間で再生可能エネルギーの研究開発センター及びジョイントベンチャーの設立にかかる

了解覚書をはじめとする様々な合意が交わされた。

(9) ラウル・カストロ国家評議会議長のCELAC首脳会合出席

25日、ドミニカ共和国で開催された第5回CELAC首脳会合に、ラウル・カストロ国家評議会議長が出席した。会合における同議長のスピーチにおいて、初めてトランプ政権への評価を以下のとおり語った。

米国との関係では、米国新政権がラ米地域の脅威となり得る発言をしていることに対して懸念を示すとともに、キューバとの二国間関係について、米国の経済制裁の撤廃を求め、引き続き相互尊重の原則の下に両国の関係改善に向けた対話を続ける用意があることを明らかにしつつ、キューバがその独立と主権を脅かされるような譲歩は一切しないということを改めて示した。

### 3 要人往来

(1) 来訪

特になし

(2) 往訪

ディアスカネル国家評議会第一副議長のニカラグア訪問（大統領就任式）

マレロ観光大臣のスペイン訪問

カストロ国家評議会議長及びロドリゲス外相のドミニカ共和国訪問（CELAC首脳会合）

メサ国家評議会副議長のエチオピア、南アフリカ、モザンビーク歴訪